



三ヶ日を もつと明るく



おっ、この人...
クローズアップ盟友
上尾奈支部 山本 幹直さん(25)

人の為に：東北へ

あの東日本大震災から3ヶ月経った6月下旬。幹直さんは同じJA職員4名と宮城県石巻市へ、ボランティアに行きました。そこで目にしたのは、田んぼに流れ着いた一軒家。とても言葉では言い表せないほどの光景に「もつと人の為にかんばらないと」と、一つの決意を胸に帰ってきました。

絆に繋がりたい

仕事でも、旅行でも人の繋がりがとても大切だと考えている幹直さん。これから

今回紹介の山本幹直さんは、大学卒業後にJAみつかびへ就職して2年目。「お客様に喜んで貰いたい」と共済保全課の窓口でいつも笑顔を覗かせる明るい青年の姿をクローズアップです。

野球で学生時代を過ごした幹直さん。社会人になってからの楽しみは旅行。行くと決まれば腰を振る程の喜び様。最近では淡路島、神戸方面へ行ってきたそう。多忙で、遠出のできない近頃はお酒を飲み浜松の街中に行ったり、東京の書店で勉強資料を探して回り、旅行気分を味わっています。ただし、来年は人生をかけて南国へ行きたいと、ある決意をしているようです。



ただし、窓口で親父に間違えられるのはちょっとハズかしいそうです。(自覚はしているそうです)

(文：上尾奈支部 支部長 小野 由貴)

も農青連活動や業務を通じて、人と、地域との繋がりを少しでも増やして自分を磨きたいと話します。こんなガチャピンみたいで、かわいらしい幹直さんが頑張っている姿を応援してあげてください。

活動報告

本坂ペア惜しかった!

11/17 「実績発表・青年の主張東海北陸大会」



会場の三重県志摩スペイン村ホテルにて歌唱コンクール部門は今年で最後となる



500人を前に熱唱

西部と県の大会を勝ち抜いた、中澤佳也さんと後藤日出輝さんが歌唱コンクール部門で出場し、惜しくも最優秀賞を逃したものの優秀賞を受賞。当日は盟友ら29名が応援に駆けつけ、歌唱中には横断幕をもって三ヶ日のPRを行った。

地元の特産を食べてね

11/22-24 「三ヶ日みかん配布とみかむきアート」



見味見聞が園地から持ち寄った。早生みかんがメンバーそれぞれから持ち寄った。

柑橘生産者で組織する農楽会のメンバーら16名は、町内7ヶ所の特産園等へ三ヶ日みかん合わせて250kgを配布。今年のみかんの皮むきアートの実演に挑戦し、動物の形に皮を剥き楽しく交流した。

絆 未来も日本を耕すために

11/26 「ファーマーズフェスティバル 2011静岡市グランシップにて」



三ヶ日では、三ヶ日みかん90kgを販売した他、農青連が育てたもち米を使って女性部が作った「ミカちゃんおはぎ」を配布。ステージでは竹平委員長とミカちゃんが活動をPRした。

JA静岡県青壮年連盟創立60周年を記念して丸餅アートや野良着のファッションショー、各JAの特産物市等が催された。